

510_Fortune_USDJPY_M5(MT5)の概要（バックテスト結果に基づく紹介）

【設定概要】

- ①通貨：USDJPY
- ②ロット：0.25Lot
- ③バックテスト期間：2021/1/4～2024/12/26
- ④モデリング品質：100%

【取引概要】

- ①総取引回数：241回
 - ➡バックテスト期間の約4年で年60回前後。曜日・時間帯を狙う“アノマリー系”らしく狙い撃ち型の頻度。
- ②平均獲得PIPS：4.00PIPS
 - ➡勝ち平均 +27.04 pips、負け平均 -29.33 pips。このためリスクリワード比は約0.92（＝勝ち1に対して負け1.08）。損益バランスはフラット寄りで、勝率との組み合わせで成績が形づくられるタイプ。
- ③損益分岐率：52.0%
 - ➡勝率 59.2% に対し、差は 7.2%。スプレッド等の影響をある程度吸収できる余地の目安。

【特徴】

- ◆アノマリー（曜日・時間帯など）に基づくエントリーで、特定タイミングを狙う設計。
- ◆バックテスト期間の年ベースでは 2021・2022・2024年はプラス、2023年はマイナスと、長期では積み上がる傾向。
- ◆リスクリワードが1に近く、極端な偏りが小さい。

【留意すべき点・リスク】

- ◆バックテスト上、2023年は年間損益がマイナス。アノマリーが機能しにくい局面では成績がぶれる可能性。
- ◆バックテスト上の最大連敗12回、最小獲得 -300.8 pips。短期的に資金が減少する場面があり得る。
- ◆月ごとの振れ幅が大きい月もあり、DD期間が長引く可能性を想定した資金設計が必要。

【補足】

本資料はバックテスト結果に基づいて特徴を整理したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
実際の取引環境（スプレッド、約定速度、口座条件など）によって結果が異なる可能性があります。